

情報公開文書

機械学習による拡散 MRI 乳がん診断支援システムの開発

(1)研究名：機械学習による拡散 MRI 乳がん診断支援システムの開発

(2)研究の目的：京都大学医学部附属病院放射線診断科において実際に撮影された乳房 MRI 画像を用いて、拡散 MRI などの画像情報と機械学習の手法を融合させることにより乳腺腫瘍の良悪性鑑別やサブタイプ鑑別や再発・予後予測に役立てないか検討します。

(3)研究期間：本研究の研究機関の長の実施許可日から5年間です。

(4)倫理審査：本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。

(5)研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 責任者氏名：中本裕士

(6)試料・情報の利用目的・利用方法

・下記の3つの研究の情報の二次利用を行います。

承認番号E1724

課題名：乳房病変に対する灌流・拡散強調MRイメージング法を用いた非侵襲的評価法の確立

2013年4月から2016年3月の間に、京都大学医学部附属病院 外来棟地階MRI室にて、拡散強調MRIを含む乳腺の3TMRIを受けた患者さん

承認番号R0895

課題名：乳癌診断におけるMRI撮影標準化に向けた複数施設前向き研究

2017年3月6日～2022年4月30日の間に、京都大学医学部附属病院 外来棟地階MRI室及び北野病院MRI室、関西電力病院MRI室にて、拡散強調MRIで撮影する乳腺MRI検査対象となる症例（悪性腫瘍、良性腫瘍、炎症など）に該当する患者さん

承認番号R1079-3

課題名：乳房病変に対する拡散強調MRIを用いた非侵襲的診断法の確立

2017年4月1日から2020年3月31日までの間に、京都大学医学部附属病院外来棟地階MRI室にて、複数の拡散強調MRI撮影手法での乳腺の3T拡散強調MRI撮影を受けた成人患者さん

・委託業務先（イーグロース株式会社、A.I.システム研究所株式会社）に患者さんの情報を匿名化（患者さんの個人情報を消去する処理）した上で提供します。

(7)利用または提供する試料・情報の項目

患者さんの診療内容の情報（拡散強調画像を含むMRI画像、良悪性などの病情報、再発・予後などの臨床情報）を抽出・匿名化してから解析、研究します。

(8)当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科放射線医学講座 責任者氏名：中本裕士

(9)研究資金・利益相反

この研究遂行に必要な研究資金は、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）により支払われます。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

(10)試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 責任者氏名：中本裕士

(11)患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

下記の 13 の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

(12)研究に関する資料の入手・閲覧およびその方法

患者さんの個人データについては、匿名化済みです。他の患者さんの個人データを取得することはできません。研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本実験に関する研究の資料の入手・閲覧は可能です。下記の 13 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

(13)本研究に関する問い合わせ先

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構・放射線診断科 飯間 麻美

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）片岡 正子

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部附属病院 放射線診断科

(E-mail) diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp

本研究に関する苦情の窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口(Tel)075-751-4748

(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp